



三島駅南口再開発でGW 即延期求め市民集会 地下水調査など市に要望へ

三島駅南口再開発による地下水の影響を危惧するNPO法人グラウンドワーク三島（小松幸子理事長）は13日、大宮町の市民生涯学習センターで即延期を求める市民集会を開いた。参加した市民ら約60人に現状を説明した後、市民レベルの地下水監視委員会設立や地下水調査などを市に要

望する考えを示した。

同団体は湧水上流部にあたる駅南口のホテル、高層マンション建設などの再開発による水辺環境の悪化を危惧して開いた。高層建築物が新たなにぎわいづくりにつながる根拠も不透明としている。

集会では駅南口西街区のホテル建設や東街区の高層マンション計画の現状などを紹介した。この上で市民による地下水の監視委員会新設や専門家に依頼しての新たな地下水環境調査の実施、市民レベルで考案する町づくりグラウンドデザインなどを提案している。

意見交換では「水を守るべきだ。地下水路が変わらないように監視は必要」「湧水と水質保全のため明確なルール必要」「再開発を急ぐべきではない」などの声があがった。